


こんにちは 神奈川県衛生研究所です！




「私たちは県民の皆様の健康と安全を守る」ことを
ミッション（使命）として、

1. 調査研究



衛生博士



化学物質分析装置

2. 試験検査

- 健康被害が想定される苦情検査や公衆衛生上の事件・事故発生時の原因究明のための検査
- 公衆衛生行政の基盤となる科学的・技術的データを提供するための検査など

3. 研修指導

- 各種技術研修の実施
- 研修生受け入れ（海外・国内）
- 施設公開・公開セミナーの開催
- 講師派遣・出前講座 など

4. 公衆衛生情報の収集・解析・提供

- 感染症情報センターの運営
- 「研究報告」、「衛研ニュース」、「神奈川県感染症」、「神奈川県における放射能調査・報告」などの発行
- 健康やくらしの安全に役立つ保健衛生情報の提供など

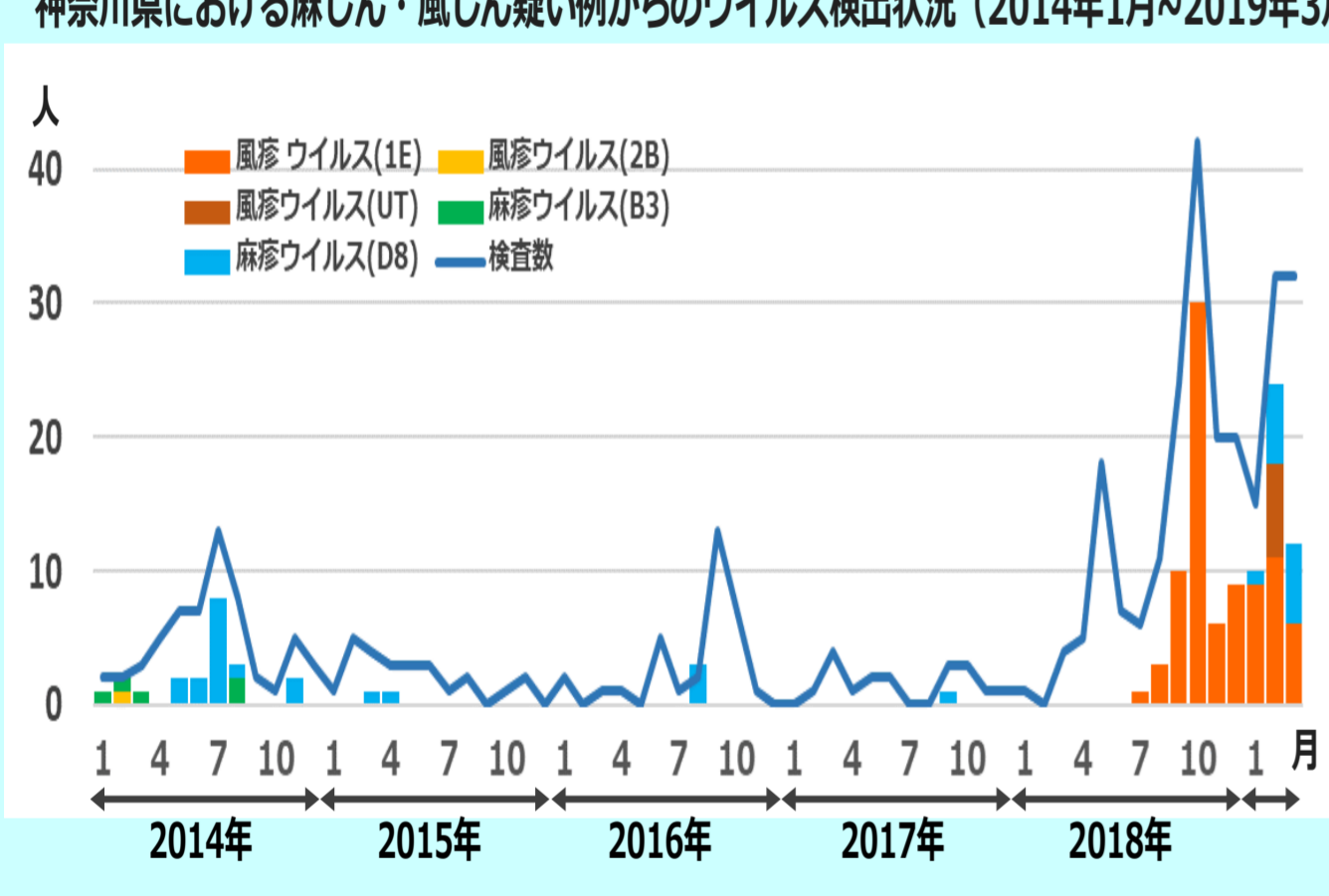
の業務を行っております。

調査研究については、「感染症の監視と予防」、「食品と医薬品の安全・安心」、「くらしの安全・安心」、「健康増進と疾病予防」を**重点課題（四本柱）**としてさまざまな課題に取り組んでいます。

感染症の監視と予防

●ウイルス性感染性 麻しん・風しんの調査研究

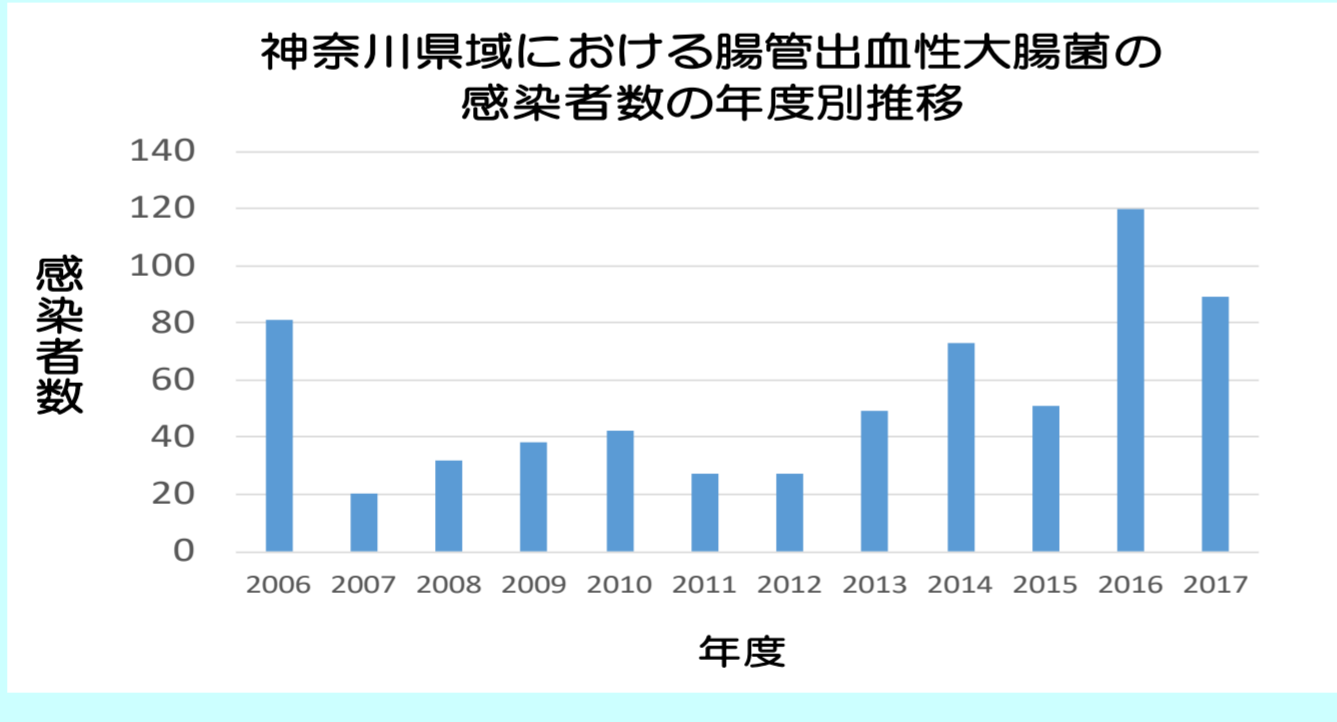
神奈川県における麻しん・風しん疑い例からのウイルス検出状況（2014年1月～2019年3月）



衛生研究所では、県内で発生した麻しんや風しん患者の遺伝子検査を実施しています。患者から検出したウイルス遺伝子を解析し、感染経路の推定や流行状況の把握を行っています。2018年7月以降は風しん（遺伝子型1E）が、2019年1月以降は麻しん（遺伝子型D8）が神奈川県内で検出されました。

●腸管出血性大腸菌 の調査研究


神奈川県域における腸管出血性大腸菌の感染者数の年度別推移



O157等の腸管出血性大腸菌による感染症は県内でも多く発生しています。神奈川県衛生研究所では、県内で発生した感染事例に対して、分離菌株の遺伝子解析を行っています。遺伝子解析は、感染源や感染経路の解明に有効な手段です。

くらしの安全・安心

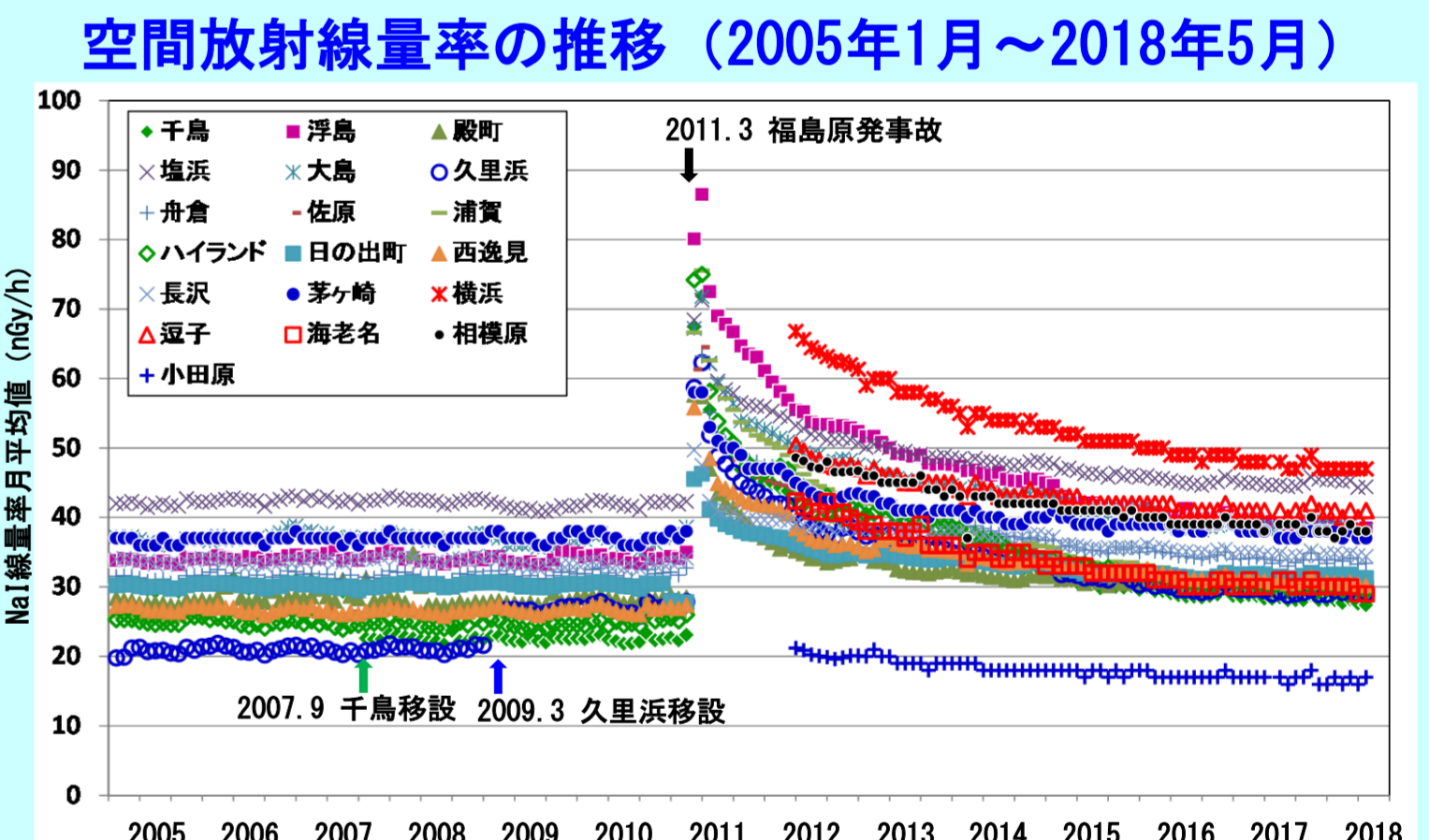
●飲料水中の有害物質 に関する調査研究



水道水のもとになる河川水に含まれる農業などの有害物質についての調査研究を行っています。

●福島第一原発事故 後の放射能影響調査

空間放射線量率の推移（2005年1月～2018年5月）




福島第一原発事故の長期的な影響について、調査研究を行っています。

食品と医薬品の安全・安心

●食品中の異物対策

カットサラダの異物

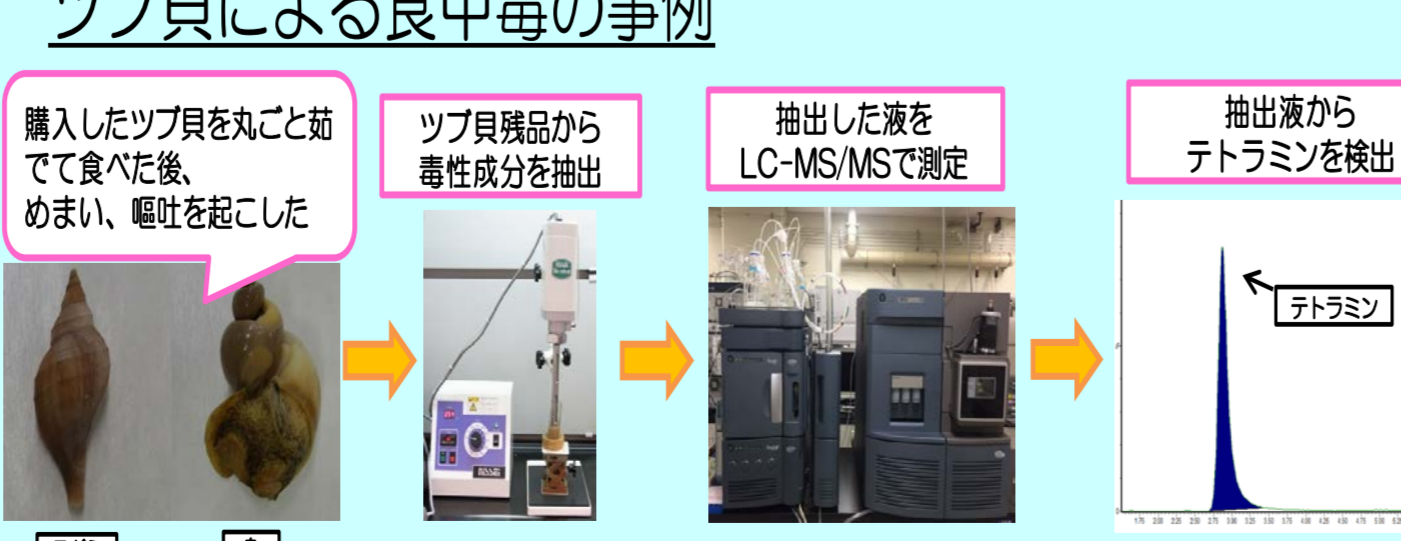


カットサラダに見られた白い綿状の部分の顕微鏡で観察したところハイロカビの仲間でした。

●自然毒による食中毒

●自然毒による食中毒の原因究明や再発防止のため、毒性成分について機器分析を実施しています

ツブ貝による食中毒の事例



ツブ貝の残片からテトラミンという毒性成分を検出しました。また、博物館での鑑定の結果、貝はソボロと同定されました。

ツブ貝の唾液腺にはテトラミンが含まれています。調理する前に必ず唾液腺を取り除いてください。

健康増進と疾病予防

●重点実用化研究事業（平成29～31年度） アレルギー免疫療法の奏効性予測のための新規評価系の確立

超高感度アレルギー試験法 EXILE法



アレルギーの根治を目指す「アレルギー免疫療法」が注目されています。しかし、この治療法は治療期間が2～3年と長く、全ての患者さんに効果が期待できるわけではありません。「アレルギー免疫療法の治療前や治療中に効果を評価することができれば、治療が奏効するまでの期間を予測し、効果が期待できない場合は他の治療法に変更することが可能になり、患者さんのQOLが向上します。そこで、衛生研究所では超高感度アレルギー試験法であるEXILE法に治療奏効性と関連するバイオマーカーの測定を組み込んだ新たな評価系の構築を目指しています。

施設公開や出前講座などのお問い合わせは、
神奈川県衛生研究所 企画情報部 までお気軽にどうぞ！！

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-3-1
電話：0467-83-4400 FAX：0467-83-4457
ホームページ：http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/